



木下会長が挨拶

2015年「新春の集い」1月18日に開催！

昨年の辛坊治郎さんの講演続き盛会！テーマは・・・**シングルハンド日本1周物語**。
体を張って学んだ、サバイバルへの教訓を惜しみなく開陳！

「コータロー」宇田川晃氏、その隠された体験を語る。



語る宇田川晃氏



竹島



和歌山周参見沖



大分一ツ瀬



知床半島宇登呂漁港沖

◆与論島 茶花港入港でリーフの怖さを知ること。ここでキール3分の2、スケグ3分の1のFRPが剥離。宝島の平田氏のヘルプで、宜野湾で修理した。

コータローさんに講演の依頼は昨年8月。これ迄経験してきたクルージングのノウハウを、これからロングクルージングを志すわがクラブのセーラーに！との依頼を快諾。これまでの航海記録6万枚の写真から教訓満ちた数十カットを選定◆和歌山の串本漁港で、ヨット「コータロー」が漁船に轢かれた！！

◆DAYクルーザーY-23Sで、対馬～釜山へ◆環太平洋レースで上海へ（YUMI中島艇にて）

◆ミニトランサットにCOCO650（6.5M）で参加を目指すも目指すも時化・凄惨な潮流に阻まれ石垣島で断念

◆ウラジオストックへは関門海峡を越えて1週間、一人で舵を持ち続け疲労の極限。波浪—ガス—静寂—疲労—幻覚・幻聴を体験。

◆屋久島～トカラ列島、口之島では、平瀬と芽瀬2つの瀬。ワッチを怠り激しい潮流に流されあつというまに、乗揚げ！

◆牛深港ではお祭りの漁船のパレードに出くわした。

◆大隅半島の先端にある佐多岬は近寄ると危険！岸から5マイル以上離すこと。◆大分のサンマリーナの入口は狭く浅い。1ツ瀬は河口にあり荒れると知ら波が立ち危険だ。ここで、乗揚げ、キールは助かったがラダーとスケグを破損・・・などなどプロジェクターで映しだされる写真に沿って、淡々と話された。惜しみなく披露される貴重な体験談に、参加者の表情は真剣そのもの。

コータローさん、シングルハンド航海10訓

- 1 未だ暗い漁船の入出港時の出港は避けよ
- 2 漁船入出港時と重なる時はライトアップ
- 3 強風波浪注意報時は出航しない（外洋除く）
- 4 荒天になる前に緊急入港する事
- 5 荒天時は沖合で天候回復まで待て
- 6 瀬・灘・岬・河口は、監視を強化
- 7 ハーネスは腕の長さより短めに
- 8 天気予報・情報を入手し早めの対応を（リーフ。緊急入港など）
- 9 無理な計画はやめよう
- 10 荒天時は電気系計器が作動しない事も。チャート（海図）で現在位置・方位を記せ
失敗は成功の母・多くの経験を積み重ねよ！

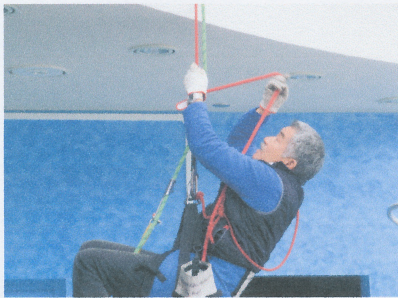
当講演の詳細は、クラブホームページに掲載しています。ご参照ください。

「海上安全講習会」2月15日に開催 (主催・大阪府マリーナ協会 於：ヨットハウス1F)

今年の講習会は、松浦優氏(元メルボルン～大阪Wハンドレース出場)によるマストひと登りの座学&実技講習、平田洋一氏(宝島オーナー)によるFRPの修理方法の実技講習を加えて実施されました。

◆午前の部

松浦講師自ら実演。一人登りは自分のペースで出来最高!マストトップで、コーヒーもオツなモノ、と松浦氏。



使うのは登山用具。アッセンダー・エイト環・カラビナ・ロープ類・ボースンチェア・充分な準備でポイントをおさえれば安全

◆午後の部・関空海上保安航空基地・三好係長の「周辺海域での、海難状況報告」なんと、小型船舶の海難事故は73%を占め、うち軽率海難が、70%に及ぶとのこと。講習に続き、心肺蘇生法の実技講習。さらに普段できない信号紅焰の着火実演・実技。



参加の皆さん、ふだん見られない真剣さ!



AEDはヨットハウス1F入口に備えられ



信号紅焰一斉着

引き続き関西小型船舶安全協会の天野事務局長による「航海の歴史、航海安全への歩み」と題した講演が行われた。

◆ラストは我がクラブが誇る、造形美術作家 平田洋一氏(宝島オーナー)によるFRPの修理工法の講義と実技指導・何を使うか?(イソポリ)・硬化のさせ方・硬化を阻害するもの…など、基本の講義。



・実際にFRP部が破損したディンギーの補修を実地解説。ご覧のとおり、皆さんの熱心な眼差し。果たして、ご自分で、補修できるようになったでしょうか?



実際に指でなぞってみると、なめらかで、完璧に補修されていました。す・ご・い!

大阪府マリーナ協会主催

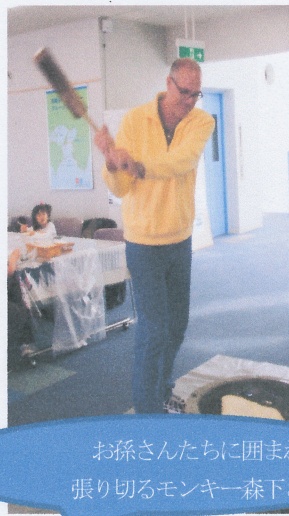
‘15「新春 餅つき大会」開催

今年も1月8日(日)マリーナ協会主催の恒例「新春餅つき大会」がヨットハウス2階で開催されました。

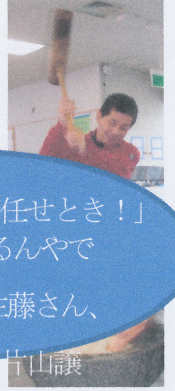
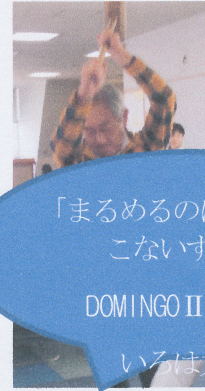
50人を超える参加者の中でも頑張ったのはオーバー還暦、とお孫さん世代。吉田元会長がヨイショ！モンキー森下さんが、コネ手でドッコイショ。身長203cmのマークさんも参加してヨイショ。久しぶりのDOMINGO II佐藤さんはお孫さんグループに囲まれて、丸めます。和やかな新年のひと時、間々教会のスタッフの皆様、準備・段取り・運営・後片付けとありがとうございました。



今年もよろしく！



お孫さんたちに囲まれ
張り切るモンキー森下さん



「まるめるのは任せとき！」
こないするんやで
DOMINGO II 佐藤さん、
いろは丸山譲



和やかで、楽しい新春餅つき大会、マリーナ協会の皆様、お疲れ様でした。今年も、よろしく！

1

今年から始まるわがクラブ艇紹介。「なんか、クラブ入っていても知らん艇が多いな…」「外国艇はホームページで紹介されているのにね…」なんて、呟きが聞こえてきます。ならば…ということで、仲間の輪が楽しく広がっていきますようにとの願いを込めてこの企画をスタート。第1号は、ちょっと異色・変わり者を自認する「プチスター」なんと近頃めったにない新艇進水！しかもスピード狂仕様。今年、クラブレースはもちろん。近畿の数あるレースでの活躍が大いに期待されます。

艇名 プチスター

オーナー 竹澤 彰規 (建設業自営)

クルー 安松谷昌三・蜂須賀弘美・川口晃波・竹澤陸

ヨット歴 16歳から46年 (20年ブランクあり)

艇種 J70 (全長6.93m 全幅2.71m エンジン船外機 3,5Hp) ブーツ型リフティングキール

オーナーとの一問一答

Qプチスターはこれまで、淡輪にはないタイプの艇ですね！

A もともとディンギー乗りなので、クルージングした事がありません。プチスターにはテーブルもギャレーも無いって冷やかされています。またドリフトキールで、まあディンギーの親分ですわ。ぶっ飛びませえ〜。

Qこれまでどんなヨットに乗っておられましたか？

A、高校、大学とフィン、スナイプです。卒業してウインドサーフィン、レーザー、そしてやっとJ24にたどり着きました。一時J24で終わりにしようと思ったのですが、J70のユーチューブを見てしまい、またムラムラ〜虫がおきまして…

Qお仕事柄大変器用とお見受けしますが…

A、モノづくりが大好きです。OKディンギーを自作しましたし、スナイプのラダーなんかいつも自作していました。模型ヨット作って武庫川横断レースとか。

Q進水は今年の7月でしたね。

A、そうです。その進水式のセーリングでいきなり沖ブイにゼネカーを接触、ビリビリ〜！でも、なんとか8月のマリノフェスティバルに修理が間に合い、2位を確保できました。(前のJ24では2回優勝されている)

Qクルーはどんなメンバーですか？

A、息子を含めて4名。レーザーセーラーが2名です。この2人はクルージング経験も豊富で、色々教えてもらっています。

Q今後の抱負をお聞かせください。

A、新艇を手に入れたので、今年はクラブレースは勿論、大阪湾近辺のレースには積極的に参加していきたいと思っています。また、ヨットクラブにはこれまでずいぶんお世話になってきたので、レーザー始めビッグレースの運営経験を生かして、できるだけお返ししていきたいと考えています。

宜しくお願いします。

